マナーモード設定

マナーモードを設定／解除する

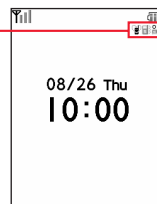
静かにすべき場所などでは、着信音やボタン確認音などが鳴らないように設定できます。電話がかかってくるとバイブレータ（振動）でお知らせします。

- お買上げ時は、バイブレータ、簡易留守録が自動的に設定されます。電話がかかってくると一定時間振動し、続いて簡易留守録で相手の用件が録音されます。小声通話は設定されません。

設定する

1 待受画面で [#] を1秒以上押す

マナーモードが設定されます。

- [Menu](ｻｲﾄﾞｷｰ) を1秒以上押しても設定できます。
- サブディスプレイメニューから「マナーモード設定」を選択しても設定できます。

解除する

1 待受画面で [#] を1秒以上押す

マナーモードが解除されます。

- [Menu](ｻｲﾄﾞｷｰ) を1秒以上押しても解除できます。
- サブディスプレイメニューから「マナーモード設定」を選択しても解除できます。

マナーモードを設定すると

- 以下の音は鳴らなくなります。
  - 各種着信音
  - 応答保留音
  - 警告音
  - ボタン確認音
  - 各種アラーム音
  - 情報画面表示中のサウンド
  - Vアプリ実行中のサウンド　など
- 次の場合は、バイブレータでお知らせします。
  - 電話がかかってきたとき
  - アラームの設定時刻になったとき
  - メールやウェブ、ステーションの情報を受信したとき
- バイブレータ、簡易留守録、小声通話を自動的に設定できます（マナーモード内容変更で設定できます）。
- マナーモード中でも、カメラのシャッター音や連続撮影音、セルフタイマー音は鳴ります。

注意

- 電源を入れたまま充電するときは、マナーモードを解除してください。バイブレータにより、V401Dが卓上ホルダーから外れることがあります。

補足

- マナーモードを設定すると、着信音設定や効果音設定のバイブレータの各設定は無効になり、マナーモード内容変更のバイブレータの設定に従います。

マナーモードの設定内容を変更する

マナーモードの内容を変更します。バイブレータ、簡易留守録、小声通話のそれぞれについて、マナーモードを設定したときにOnに設定するかしないかを選択できます。

項　目	説　明	お買上げ時
バイブレータ	電話がかかってきたときやアラームの指定時刻になったとき、またメールなどを受信したときに、振動で知らせるように設定します。	☑（On）
簡易留守録	電話に出られないときに、相手のメッセージをV401Dに録音するように設定します。	☑（On）
小声通話	通話中にマイクの感度を上げて、小声で話しても伝わるように設定します。	□（Off）

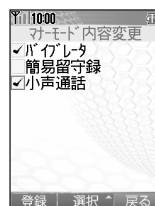
1 ◉を押し、「設定」▶「マナーモード変更」を選択する

2 Onにする機能の □ を選び ◉（選択）を押す

□ が ☑ になります。

● Offにするとき： ☑ を選択し □ にする

3 ⓞ（登録）を押す

マナーモードの内容が変更されます。

補足

● ここではマナーモードの内容を変更するだけです。

● ここでマナーモードの内容を変更しても、個々のバイブレータ、簡易留守録、小声通話の設定には反映されません。

小声通話

通話中にマイクの感度を上げて、小声で話しても伝わるようにします。通話を終了すると解除され、通常のマイクの感度に戻ります。

設定する

1 通話中に ⓞ を1秒以上押す

小声通話に設定されます。

● 通話中に解除するとき： ⓞ を1秒以上押す